

とちぎ市議会だより

第16号

2013.11.20

発行／栃木市議会 編集／議会広報紙発行特別委員会 TEL.0282-21-2253



西方地域の体育祭

平成25年9月定例会が、8月30日から9月27日までの29日間の会期で開催されました。

本定例会初日には、税条例の一部を改正する条例の制定など、議案23件が提案されたほか、平成24年度の各会計決算の認定11件が提案され、人事案件1件については、同日に即決されました。

一般質問では、9月3日から9月6日の4日間に16人の議員が登壇して市政全般にわたる質問が行われ、一般質問終了後には、追加議案1件の提案がありました。

提出された議案等は、所管の常任委員会に付託の上、詳細な審査が行われました。

また、9月20日には、市庁舎整備事業費増加に伴う、補正予算の採決が行われ、原案のとおり賛成多数で可決されました。

最終日には議案等の採決が行われ、各案件とも原案のとおり可決、または承認され、請願1件は不採択となりました。

その後、議案2件が追加提案され、審議の結果、2件とも原案のとおり可決されました。

目次

9月定例会の 主な議案	2
一般質問	3～10
常任委員会 審査結果	11～12
討 論	13
議案等審議結果	14～15
議会のうごき	16

9月定例会の主な議案

9月定例会では、補正予算7件、条例の一部改正6件、工事請負契約の締結2件、工事請負契約の変更2件、財産の取得3件、人事案件1件、その他6件、平成24年度決算の認定11件の審議が行われました。

9月定例会で提案された主な議案等についてお知らせします。

介護保険条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、介護保険料に係る延滞金の割合を引き下げるための改正です。

高齢者サービスセンター条例の一部改正

介護保険法の一部改正に伴い、利用者の費用負担に係る引用規定を改めるための改正です。

一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出ともそれぞれ5億4千700万円を増額補正するものです。

補正内容は新市庁舎整備に要する測量、設計委託料及び1階部分の工事委託料を計上するものです。

工事委託契約の締結

(新市庁舎1階整備業務)

工事委託契約を締結するものです。

工事概要

- 防災設備工事
- 建具工事
- 内部改修工事
- 電気設備工事
- 機械設備工事
- 契約相手方
- (株)東武宇都宮百貨店
- 契約金額
- 9億9千708万円

工事請負契約の締結

(大平学校給食センター新築工事)

大平学校給食センター新築工事の請負契約を締結するものです。

工事概要

- 鉄骨造2階建て
- 建築面積1千579・83㎡
- 延床面積1千900・45㎡
- 契約相手方
- 松本・松本特定建設工事共同企業体
- 共同企業体
- 契約金額
- 4億6百87万5千円



大平学校給食センターの完成予想図

財産の取得(高規格救急自動車)

消防署の高規格救急自動車が高齢化したため、買い替えるものです。

取得相手
栃木トヨタ自動車(株)
予定価格
3千297万円

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員26名のうち、大橋登美子氏が本年12月31日をもって任期満了となることに伴い、引き続き、推薦することについて同意したものです。

平成24年度の決算審査を行いました!

一般会計歳出額は534億2,614万6,799円

議会は市民の代表として、予算が適正に執行されたか、収入が適正に確保されたかなど審査しました。

審査の結果、予算を適正に執行した決算として認定しました。

他の会計歳出額

国民健康保険特別会計	163億618万3,773円
後期高齢者医療特別会計	13億9,812万6,960円
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	100億8,587万3,876円
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	3,894万448円
下水道特別会計	38億8,917万9,963円
農業集落排水特別会計	3億2,043万2,661円
JR大平下駅前土地区画整理特別会計	7,272万9,108円
医療福祉モール特別会計	1億4,340万9,831円
中根産業団地特別会計	4億4,143万8,392円
水道事業会計収益的支出	19億5,658万3,066円

市政に対する一般質問



海老原恵子 議員
大 樹

- 平成24年度の決算状況
- 国民健康保険財政の健全化について
- 小規模特認校について
- 国府地区の生活環境の整備について

健全な財政運営のための取り組み状況は

栃木市総合計画を具現化するためには、「健全な財政基盤の確立」が、もつとも大切である。

平成24年度は、市庁舎整備事業や、栃木地区病院統合再編事業等により、総務費が10.3%、衛生費が22%の増額となっている。その他の支出は抑制されているが、歳入の確保と歳出の抑制に、どの様に取り組んだ

のか伺う。

答弁 鈴木市長

行政改革大綱等を確実に遂行する

歳入の確保については、市税の収納率向上を図るため、職員による巡回徴収等の強化や新たに納税コールセンター嘱託員による電話催告を導入し、約1億2千万円の納付があった。

また、各地域の公民館や体育施設等の使用料の統一化及び公民館等の自動販売機設置に対し賃貸借契約を結び、市の財産の貸し付けにより約1千100万円を自主財源として生み出すことができた。

さらに、行政サービスに合わせた適正な職員配置や行政組織のスリム化、効率化を図り、歳出の抑制に努めたところである。

合併後3年を経過した中行政改革大綱・財政自立計

画を確実に遂行することにより、将来にわたる財政の健全化と持続可能な財源の確保が可能となるものと考えている。



大宮公民館に設置の自動販売機



針谷 正夫 議員
黎 明

- 健康増進計画について
- 「振り込め詐欺」などの特殊詐欺被害防止にむけて

歯と口腔の健康づくりのついでにどのようか考えるか

歯や口の中の健康づくりが全身の健康に大きな影響を与えていることを、私た

歯と口腔の健康づくりを推進しよう

答弁 飯塚保健福祉社社長

ち市民は、まだまだ理解不足である。例えば、歯周病は、糖尿病や肺炎、心筋梗塞、認知症、低体重児出産等に関係している。栃木県では、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」が施行されているが、本市では歯と口腔の健康づくりについてどのよう



歯みがきじょうずかな!

現在策定中の健康増進計画において、重要領域の一つに「歯と口の健康」を掲げ、目標を「歯周疾患が健康に及ぼす影響について理解し、歯科検診を受けて、歯と口の健康管理に努めること」と設定した。また、栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例の策定を進めているところであり、今後は、健康増進計画の推進や、条例制定を通して、歯と口腔の健康づくりを総合的かつ効果的に推進していく考えである。



長 芳孝 議員
黎 明

- 入札制度について
- 市職員の活性化について
- 市内中心市街地活性化について
- 都賀インター周辺開発について
- 農業振興政策について

都賀インター周辺の道路を 拡張すべきでは

都賀インター北部地区は、既に3つの企業が進出しているが、東北道と北関東道の交錯地点であり、高速アクセス性に優れている場所でもあることから、更なる産業振興と雇用創出に向けての企業誘致が必要と考える。

また、都賀地域の20年来の懸案事業であることから、地権者全員の署名で請願書を提出した市道T①ー一〇二号線及びT①ー一一

一号線を工場立地に必要な9m以上の道路幅にして頂きたい。

答弁 鈴木市長

研究会の皆様と良好な 土地利用を図っていく

現在、都賀インター周辺のエリアの大部分は農振農用地の除外は済んではいるが、10haを超える第一種農地であるため、転用は原則許可がおりない状態であり、エリア内に道路をつくったとしても、直ちに企業進出という訳にはいかない現状である。

しかし、市の総合計画においては、産業集積の重要な拠点に位置付け、為替変動に左右されない内需関連企業を誘致することで、自主財源の確保等の拡大を図るとしていることから、まずは、地元地権者で組織している都賀インター周辺土地利用研究会の皆様とともに、地区全体の土地利用の構想を立てた上で、開発の手法や道路及び水路の整備

を含めた、都賀インター周辺の土地利用計画を策定し、良好な土地利用を図っていきたくと考えている。



都賀インター周辺の様子



大島 光男 議員
栃木創志会

- 渡良瀬遊水地の活用について
- 中根産業団地の周辺開発について

遊水地内にビクターセンターを 設置する考えは

渡良瀬遊水地を訪れた方々への情報提供や観光光

イドの拠点となる施設及び休憩所として、飲食ができれば、土産物や特産品の販売所があり、さらに宿泊及び合宿等ができる複合施設としてのビクターセンターの早期設置を望むが、渡良瀬遊水地保全利用協議会副会長でもある市長の考えを伺う。

答弁 鈴木市長

遊水地内の設置を 強く要望する

ビクターセンターは、渡良瀬遊水地のシンボルとなるものであり訪れる方にとっての、環境学習やレジャースポーツ等の拠点として、来訪した方が、楽しく過ごした後に、市内に足を運んでもらえるようなPRやさまざまなサービスの提供も考えられる。

現在、本市では、渡良瀬遊水地の活用に関する計画の策定を進めているところであり、計画の中で、ビクターセンターは、必要な施設と位置付けをしていきたいと考えている。

今後、渡良瀬遊水地保全

利用協議会の協議の中でビクターセンターの議題があった際は、遊水地内に設置する必要があると強く要望していく考えである。

なお、ビクターセンター設置までは、藤岡遊水池会館やスポーツふれあいセンター等の施設を活用しながら、来訪者への情報発信をはじめとしたサービスの努



スポーツふれあいセンター（藤岡地域）



千葉 正弘 議員
栃木創志会

- 高校生・大学生のまちづくりへの更なる活用を
- 平成26年度の予算編成方法
- 保育環境の充実に向けて
- ファイリングシステム導入の検討状況について
- 栃木市の情報化計画について

統合後の保育の在り方及びとちぎメディカルセンター1病院との連携は

ぬまわだ保育園と大平東保育園の統合計画は、平成27年4月開園の予定であ



ぬまわだ保育園



大平東保育園

り、統合後は、病児・病後児保育の充実が特色の一つと聞いているが、保育の在り方を伺う。
また、とちぎメディカルセンター1病院との連携は、どのようにイメージしているのか。

答弁

奈良部保健福祉部副部長

具体的な連携方策について検討していきたい

統合後の保育園は、病児・病後児が、快適に過ごすことができるよう、専用の保育室、隔離機能を持つ安静室等の設置及び感染予防に対する衛生面に配慮した送迎用の駐車スペースの確保などを予定している。

また、医療面での管理・指導を行う健康管理医師を選定し、緊急時には常駐する病院等で速やかに受診できる体制を構築する。
第1病院との連携については、病児・病後児への対応のほか食物アレルギーによるアナフィラキシー・ショック等の緊急時の対応など、子どもたちの安全・安心を確保するため、今後具体的な連携方策について検討していきたいと考えて



天谷 浩明 議員
改革栃木

- 新市庁舎の建設費について
- ゴミの対応について
- オストメイト施設の普及について

新市庁舎の総建設費は

市は、市民に対し、庁舎

を新築した場合、65億円かかるが、旧福田屋百貨店を新市庁舎に活用すれば約3分の1の21億円プラス土地代込で総額30億円から33億円程度で出来るのではないかと説明してきた。改めて新市庁舎全体の予算の考え方を伺う。

答弁

赤羽根総合政策部長

**約50億9千万円の
見込みである**

新庁舎の全体予算は、2階から6階までの行政施設部分の整備工事費が約27億9千万円、また新規備品購入費として、約1億7千万円及び専門業者による引越し業務とし、約2千700万円を見込んでいる。

次に、商業施設を含む1階の整備事業費が約9億9

千700万円の見込みである。次に、土地等の購入費として、福田屋百貨店から6億4千500万円また立体駐車場の北側入口に隣接する民有地の購入費として、建物調査費含めて約1億2千500万円の見込みである。

最後に、新庁舎改修に伴う設計費用及びコンピューターネットワークの整備等を合わせ、約3億3千万の見込みで、全体予算としては、約50億9千万円の見込みである。

また、1階商業施設の大枠での予算計上については行政施設部分の積算を先行したことにより、対応が遅れてしまったものである。民間ビルの買収については、昨年12月議会において、当該物件に係る用地調査のための補正予算を承認いただき、本年2月から物件調査を行い、当該所有者と本格的な交渉を開始した結果、本年7月に内諾を得た状況であることから、当初予算の計上は困難であった。

長期入院患者への市の対応は

長期入院を必要としている患者は、3カ月を目安に転院しなければならず、さらに転院先も個人で見つけなければならぬ現状であり、家族が非常に困っているケースもある。改善に向けた市の対応は。

地域完結型医療提供体制を整える

現在の医療制度では、病棟の種類に応じて、入院の平均在院日数が決められている。また患者1日当たり

答弁 飯塚保健福祉部長



萩原 繁 議員
新生クラブ

- 入院医療体制について
- 一人暮らし高齢者支援について
- 救急搬送について
- マダニ対策について



とちぎメディカルセンター第1病院(仮称)イメージ図

の入院基本料についても、90日を超えた場合は、人工呼吸器の使用や難病での特別な治療等、厚生労働大臣が特別に定める場合を除き、入院費が引き下げられることになっている。

現在建設準備中のとちぎメディカルセンターでは、第1病院で救急や急性期の患者を受け入れ、その後回復期や慢性期には第2病院に転院していただき、リハ

ビリ等を行った後、自宅に戻った際は、かかりつけ医等と連携を図り、総合保健医療支援センターにある在宅ケア支援センターにおいて在宅療養を支援していく地域完結型医療提供体制を整える予定である。



鮎田 博 議員
新誠会

- 市民の一体感の醸成について
- 地域住民の個人情報取り扱いについて
- 被災地支援について
- 誤嚥事故の教訓について

行事に参加しやすい工夫を

合併後3年を経過した栃木市の更なる発展を見据えた時、市民の一層の「一体感の醸成構築」が必要であると考える。

答弁 鈴木市長

市民の一体感の醸成を推進する

市民の皆様の中には、今でも旧市町への愛着が強く残っていることは十分理解できるが、今後は各地域を越えた栃木市民として、本市への愛着も少しずつ増してほしいと願うところである。

そのため、市としても一体感の醸成を図るため自治基本条例を策定し、全市民共通の行政運営基盤を構築した。

昨年の、とちぎ秋まつりでは、各地域からのお囃子団体の参加に加え多くの児童が参加した子ども山車ま

つりを初めて実施した。第1回市民スポーツフェスティバルでは、市民の皆様が望まれた新市の一体感を醸成するスポーツ交流大会として地域を越えた交流が図られた。

今後、イベントの開催に当たっては、多くの市民が参加し、市民としての誇りや喜びを共有するとともに子どもから高齢者までの各世代が参加して世代間交流が図られることを配慮し、市民の一体感の醸成を推進していきたいと考えている。



第1回市民スポーツフェスティバルでの綱引きの様子

行政機能と商業機能の相乗効果を期待する

答弁 鈴木市長

新市庁舎整備の見直すべきではないか
福田屋撤退時の市民の要望は買い物難民のための生鮮食料品等の商業施設であつた。現在の優先交渉権者の提案は、生鮮食料品以外に、ギフト、化粧品、婦人服、服飾雑貨の販売など、当初の市民の要望からかけ離れている。「福田屋の二の舞になるのでは？」との声も上がっている。財政が厳しい中で、費用対効果も含め再検討すべきである。白紙撤回し、見直すべきだと考えるが、見解を伺う。

- 市庁舎整備について
○生活保護行政について
○国民健康保険について



白石 幹男 議員 無会派

新庁舎の移転については、中心市街地の活性化を図ることも一つの目的として進めているが、中心部への商業施設の誘致は、市内外からお客様が来ていただけるように、身近にある店舗との差別化を図り、人々を引き付ける魅力的な店舗展開が必要である。

市としては、行政機能と商業機能の融合による相乗効果により、さらなる効果が期待できるものと考えている。

現在、庁舎1階部分の優先交渉権者からの提案については、魅力的な商業施設として、市のシンボルであ



大通り側からの新庁舎の風景

る大通りに新たな人の流れを生み出し、観光の振興等にも、大きな影響を与えるものと考えている。

入場券に宣誓書を添付できないか

- 投票所入場券について
○東武鉄道との連携について



入野 登志子 議員 公明党議員会

投票所当日に投票に行けない方々から、期日前投票所で宣誓書に住所・氏名を

書くのは、緊張するとの声がある。

宣誓書については、平成23年4月統一地方選から、市のホームページでダウンロードができるようになってきているが、更に簡略化するために、入場券に宣誓書を添付することはできないか。

答弁 田沼選挙管理委員会事務局長
利便性向上のため実施の方向で取り組み

現在、本市で使用している

入場券は、郵送料等も考慮し、1枚のがきに4名連記できるものを使用しているが、入場券を2名連記のものに変更することにより、空いたスペースに宣誓書を印刷することが可能になると思われる。

これに伴い、入場券の作成費用や郵送等、選挙経費の増額が見込まれるが、投票者の利便性の向上に繋がることから、実施の方向で取り組んでいきたい。



本市の投票所入場券



大川 秀子 議員
黎明

- 栃木インター周辺開発事業について
- とちぎ健康21プランの取り組みについて
- 下都賀地区視聴覚ライブラリーの充実を

栃木インター周辺の早期整備を

東北道が開通してから、既に40年が経過しているが、栃木インターチェンジ周辺の開発は、いまだに手付かずの現状にある。

地権者の理解の問題等でこれまで開発が進まなかったことも理由の一つであるが、市の総合計画基本構想にも産業集積エリアに位置付けられていることから、早期の開発を望む。

答弁 鈴木市長

開発整備に向けた取組みを進めていきたい

栃木インター周辺開発整備については、平成3年度に開発整備のための基本調査を行い、新しいタイプのインターチェンジ周辺整備として、計画してきたところである。

しかし、平成12年に実施した地権者の意向調査では、開発に対する合意が図れなかった。

その後、平成14年には、経済状況の悪化による、市の大型事業の休止に伴い、調査研究を一時休止していたが、平成20年に改めて地権者の意向調査を実施した結果、8割以上の地権者から「地区の将来を考えた時、新たな土地利用が必要である。」との回答があったことから、研究会の活動を再開し、調査研究を進めているところである。

今後は、本市の将来を見据えた新たな計画を策定するため、地元研究会の皆様とともに、インター周辺の土地利用のビジョンについて再構築し、開発整備に向

けた取組みを進めていきたいと考えている。



栃木インターチェンジ



梅澤 米満 議員
黎明

- 新エネルギーについて
- 委託料の抑制について

太陽光発電設備設置基準の緩和内容は

近年農業者にとって、米や麦等の生産品目の価格は安くなる一方で、農業資材

や電気料金の値上げにより経営は悪化の一途をたどっている。

また、TPPも厳しい状況の中で、農地への太陽光発電設備の設置が出来るということは、極めて朗報であると考ええる。

本年4月に太陽光発電設備の農地への設置基準が緩和されたとのことであるが、緩和の内容について伺う。

答弁 大橋生活環境部長

太陽光パネル下の農地は、一時転用の許可が必要

農地に支柱を立て、上部空間に太陽光パネルを設置し、その下の地面で耕作する施設について、農地の一時転用を許可の対象とする旨の通知が農林水産省からあった。

また、農地転用が可能な市街地として発展する可能性のある第2種農地や、市街地にある第3種農地について、太陽光発電などを行う場合に、発電を行う事業主体によらず、農地転用許

可を受けて、発電が可能というものである。



太陽光パネル(藤岡地域)

※第2種農地

鉄道の駅が500m以内にある等市街地化が見込まれる農地又は生産性の低い小集団の農地です。

※第3種農地

鉄道の駅が300m以内にある等の市街地の区域又は市街地化の傾向が著しい区域にある農地です。



大阿久岩人 議員
新生クラブ

●次期市長選挙について
○人々の集う広場づくりについて

これまでの市政運営の自己評価は

鈴木市政は、今年度で4年目を迎え、これまでの市政運営について、ソフト、ハードの両面から、自らの評価をどのようにとらえているのか。

また、次期市長選出馬への正式な決断をすべき時期にきていると考えるが、その決意について伺う。

答弁 鈴木市長

まちづくりの土台づくりはできた

私のマニフェストには、89項目、102事業の具体的な取り組み目標があり、平成25年度中には、マニフェスト全体の進捗率が、85%に

なると見込んでいます。

平成24年度には、本市のまちづくりの指針となる自治基本条例が制定され、とちぎメデイカルセンターの新病院建設も間もなく着工となる。

また、合併後、新たに生じた、市役所移転問題及び岩舟町との合併等も含めて、市政運営の自己評価をするなら、まちづくりのための土台づくりはできたという思いはある。

しかし、マニフェストにおいて提唱している各種事業は、まだ緒に付いたとは言えず、土台づくりはできたとはいえない。

次期市長選については、岩舟町との合併後に、都市計画税の導入や、上下水道料金の統一なども実施していかなければならぬためこれらをやり抜くには相応な覚悟が必要である。

また、マニフェストの未達成事業の中には、産業交流都市の実現や産業基盤の充実等の大きな事業が含ま

れており、何としても、やり続けていかなければならない。

ご理解とご支援をいただければ、継続して本市の運営を担わせていただきたいと考えています。



現在の栃木市役所本庁舎



広瀬 義明 議員
大 樹

●小児医療について
○医療費助成制度の拡充について

○障がい者雇用について

24時間体制の小児救急整備が必要と考えるが

小児医療は採算性に欠け、また専門医の不足によ

り、市内においても、十分な環境が整備されているとは言い難い。

また、夜間診療も週に3日、9時から10時までであり、深夜から明け方の診療は専門医の診療が受けられないのが現実である。

この現状を改善し、小児の生命を守る為にも行政の支援により24時間体制の小児救急整備が必要と考えるが、具現化に向けた執行部の見解を伺う。

答弁 飯塚保健福祉部長

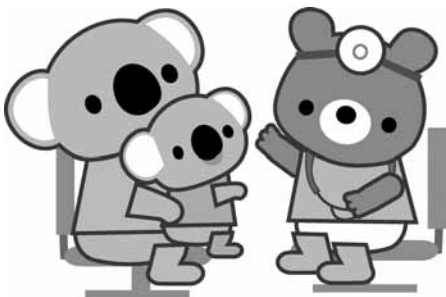
限られた医療資源の有効活用を検討する

深夜帯の小児科専門医の確保は、県全域で考えても大変厳しい状況にあるため、県では、専門医の確保に努めているが、確保には若干の時間が必要となる。

その間は、比較的多くの専門医を抱える大学病院との連携を強化し、経験豊富な看護師等の電話相談等の導入を図ることで、対応していく必要があると考えている。

本市でも、3病院の統合再編を軸に、初期救急機関である栃木地区急患センターも含め、医療体制の再構築を進めているところであるが、直ちに全ての対応ができる状況ではない。

今後は、とちぎメデイカルセンターの基本構想において、第1病院に総合相談窓口の設置が想定されていることから、栃木市医師会や栃木メデイカルセンターと協議する中で、限られた医療資源をどのように有効活用ができるのかを検討していきたい。





大武 真一 議員
改革栃木

○各種選挙投票率の向上について

○過去の一般質問のその後について

○栃木市の水道水について
●新市庁舎の移転改修費増額問題について

開庁日の延期も含めて、再検討すべき

旧福田屋百貨店の閉店に伴い、新市庁舎への利活用が議論され、市民説明会では、福田屋利活用の場合には、建設費約21億円で、新築の場合には、約65億円かかるとの説明があった。これにより多くの市民、議員が福田屋利活用に賛成をした。

しかし、1階の商業施設の整備に係る市の負担分を加えると移転費総額は、土地代を含めて約51億円の予算規模となった。

今後、開庁日の延期も含め、新庁舎移転基本計画を作成し、再検討すべきと考えるが、市長に考えを伺う。

答弁 鈴木市長

機を逸するようなく、実現させたい

新市庁舎の改修費21億円については、旧福田屋百貨店を行政施設として利活用する場合には、土地代等を除いて、約21億円と説明したものであり、商業施設の整備費用については、具体的な内容や活用の方法等が決まっていないことから当初計画の約21億円には見込んではいないものである。

また、新規の百貨店の出店は、とちぎ大通りに新たな人の流れを生み出し、周辺商店街の空き店舗解消や観光振興など、賑わい創出のための大きな契機となるとともに、本市の発展に大きく寄与することから、この機を逸することなく、実現させていきたいと考えている。



新市庁舎正面玄関予定



内海 成和 議員
改革栃木

●社会的弱者支援について
○新市庁舎1階の商業施設について
○岩舟町との合併について

生活困窮者に対し、支援が必要ではないか

多くの方は意外に思うかもしれないが、日本の子ども

もの貧困状況は先進国でも深刻な状況となってきている。今まで日本に貧困はないとしていた中で、貧困家庭が増加してしまった。日本の社会福祉の専門家は「貧困は見ようとしなければ見えないもの」だと表現している。政治家や行政は、生活困窮者に対して、支援が必要ではないかと思われるが、本市としての認識を伺う。

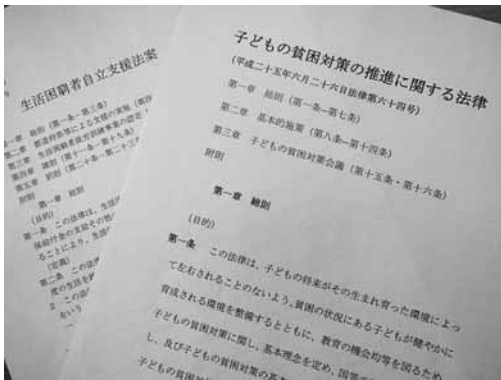
答弁 飯塚保健福祉部長

国のモデル事業を研究し取り組む

生活保護制度は、60年以上にわたり生活困窮者支援

に大きな役割を果たしてきた。しかし日本経済が高度成長期から円熟期を迎え、社会構造の変化から安定した雇用形態の減少等により稼働年齢層を含め生活困窮者が増加している。

国では、このような状況に対応するため、生活困窮者自立支援法の制定を進めており、今年度から生活困窮者自立促進支援モデル事業を実施していることから、本市ではモデル事業実施自治体の状況等を研究しながら、生活困窮者対策に取り組んでいきたいと考えている。



今年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立しました

常任委員会審査結果

総務常任委員会

日時 9月12日(木)
場所 本庁舎正庁

○付託議案

補正予算(一般会計2件)、条例の一部改正3件、字の区域の変更、工事請負契約の変更2件、財産の取得2件、訴えの提起1件、平成24年度歳入歳出決算(一般会計)、請願1件

○審査結果

一般会計補正予算2件、工事請負契約の変更2件、財産の取得2件については、討論があり、起立採決の結果賛成多数で原案のとおり可決すべきものと、その他の案件については、討論なく、全会一致で原案のとおり可決又は認定すべきものと決定した。
また、請願については、起立採決の結果、不採択とすべきものと決定した。
○質疑応答
一般会計補正予算(第5号)

(新市庁舎整備関係)

質 商業事業者の企画提案内容の評価と実現性は

答 市の募集要領で求めた内容に対し、高い評価の提案をされており、中心市街地の活性化などに最大限努力していただくと考えている。また、周辺店舗との競合を避けるとともに、地元商店街と一体となった催事の開催や地産地消の推進など、本市活性化のための企画が考えられている。

質 先進事例である石巻市庁舎一階の商業施設は、本市同様に税金を投入して整備したのか

答 石巻市はデパート閉店と新商業事業者のオープンが短期間であったため、大規模改修の必要が無かったと考えられる。

財産の取得(水槽付消防ポンプ車)

質 装備の特徴は

答 火災現場に消火栓等が

なくとも、3分から5分程度の初期消火ができる水槽を有している。また、少量の水で消火ができるキャプス消火装置も搭載している。

平成24年度一般会計歳入歳出決算

質 東日本大震災復興推進基金の充実実績は

答 藤岡公民館にある田中正造の銅像を改修したほか、震災復興のための地域づくりを行う事業に活用した。

田中正造翁の銅像



質 市税滞納に対する取り組み状況は

答 平成24年度からコールセンターを設置し、督促状送付後に納付を促すなど新たな滞納の防止に取り組んでいる。

民生常任委員会

日時 9月13日(金)
場所 本庁舎正庁

○付託議案

補正予算(一般会計他1件)、条例の改正2件、平成24年度歳入歳出決算(一般会計他4件)

○審査結果

平成24年度決算のうち、一般会計、国保特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計(保険事業勘定)については、討論があり起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと、その他の案件については、討論なく全会一致で原案のとおり可決又は認定すべきものと決定した。

○質疑応答

平成24年度一般会計歳入歳出決算

質 敬老会事業補助の実績は

答 自治会開催分では380自治会のうち300自治会に、施設開催分では19施設のうち11施設に交付した。自治会では減少傾向にあり、施設では増加傾向にある。

質 保育所第三者評価の実施状況は

答 平成24年度はいまみ保育園の評価を行った。平成25年度は各地域で1園ずつ、計5園の評価を実施している。

質 証明書コンビニ交付システム事業の評価は

答 住民票等のコンビニ交付はそもそも住民基本台帳カードの普及が目的であるが、想定より伸びていないので広報に努めている。



コンビニに設置されている証明書の交付機

質 斎場整備の進捗状況は

答 平成25年8月までに9回の委員会を開催し、式場や施設の構成について検討を重ねてきた。今後の予定としては、来年1月頃にパブリックコメントを実施したいと考えている。

産業教育常任委員会

日時 9月17日(火)
場所 本庁舎正庁

○付託議案

補正予算(一般会計他1件)、工事請負契約の締結2件、財産の処分1件、平成24年度歳入歳出決算(一般会計他1件)

○審査結果

いずれの案件も討論なく全会一致で原案のとおり可決または認定すべきものと決定した。

○質疑応答

財産の処分

質 中根産業団地に進出する予定の企業の概要は

答 ツーバイフォー工法のプレカット及び建物の壁等を製造している美建創という企業である。

平成24年度一般会計歳入歳出決算

質 小学校の耐震補強改修工事の完了見込みは

答 国の方針に併せて積極的に進めており、平成27年度までに耐震化事業を完了させたいと考えている。

質 道の駅にしかたへの集客アップのための取り組みは

答 マスコットキャラクターのキララちゃんを活用して土日など利用者の多い時に、或いはスカイツリーのとちまるショップ等さまざまな場所でPR活動を行った。



集客に大活躍のキララちゃん

質 栃木アシストネット事業の状況は

答 学校ボランティア関係の開催回数、学校支援の活動人数ともに増加しており、活動が活発になってきている。



学校ボランティアの様子

質 喜多川歌麿作品「品川の月」の巡回展の来場者数は

答 大平、藤岡、都賀、西方各地域を合わせて1千131名の来場があった。



喜多川歌麿作品「品川の月」

建設常任委員会

日時 9月18日(水)
場所 本庁舎正庁

○付託議案

補正予算(一般会計他2件)、条例の一部改正、製造請負契約の締結、水道事業会計剰余金の処分、平成24年度歳入歳出決算(一般会計他5件)

○審査結果

いずれの案件も討論なく全会一致で原案のとおり可決または認定すべきものと決定した。

○質疑応答

質 一般会計補正予算(第3号)(市道各号線交通安全施設整備事業)

質 具体的な整備内容は

答 栃木駅から栃木女子高校へ向かう通りの危険な区間において、車の運転者に注意を喚起するためグリーンのカラー舗装を行う。



整備予定の女子高通り

平成24年度一般会計歳入歳出決算

質 市有建築物定期点検による指摘事項は

答 大きな指摘事項はなかったが、一部でコンクリートの剥離等があった。指摘を受けた箇所については今後改修等をしていく予定である。

質 医療福祉モールの未整備地について、誘致の取り組み状況は

答 今後、医師会と協議を図り、診療所、福祉施設等の早期開院に向けて努力していきたい。



医療福祉モールの未整備地(大平地域)

質 通学路等の整備要望が多いので予算の増額を検討できないか

答 要望に対し整備が追い付かないのが現況である。予算の増額を要望して安全な道路を整備できるよう努力したい。

質 定住希望者住宅新築等補助金の検証結果は

答 平成24年度は481件の補助金を支出しており、定住者人口増加に貢献していると考えている。

討論

本会議において、各党派等の議員が、賛成・反対の意見を述べ他の議員の賛同を求めました。

一般会計補正予算(第5号)

(新市庁舎1階整備工事)

反対 鮎田 博 議員
新誠会

1階部分の行政スペースの縮小は、理解に苦しむ、再検討すべきである。

反対 白石 幹男 議員
無党派

交渉権者第2位のヤオハンの提案の方が、市民の要求に合っていると考える。

反対 入野登志子 議員
公明党議員会

天井や床仕上げの要望に応えるのであれば、賃料も見直すべきである。

賛成 須田 安紸 議員
新生会

短期間にできるだけ詳細な説明を行ってきた市長及び執行部の努力を評価する

反対 福富 善明 議員
大樹

今後の人口減少や税収減を見越した検討がなされないまま事業を進めることに、危機感を感じる。

反対 大武 真一 議員
改革栃木

一度立ち止まって、市民の意向を十分に確認すべき。

賛成 小堀 良江 議員
新生クラブ

商業施設は情報の発信源として、また新たなシンボルとして大いに期待できる。

一般会計補正予算(第3号)

反対 白石 幹男 議員
無党派

庁舎整備は予算が膨らんでいるので、抑える努力が必要がある。

反対 内海 成和 議員
改革栃木

移転補償に関して判断材料が示されず審議できないことから反対する。

工事請負契約の締結

(天平学校給食センター新築建築工事)
(天平学校給食センター新築機械設備工事)

反対 大武 真一 議員
改革栃木

入札が不透明であり、高い落札率は、談合の疑いが極めて強い。

工事請負契約の変更

(新市庁舎整備工事(建築工事))
(新市庁舎整備工事(電気設備工事))

反対 大武 真一 議員
改革栃木

変更前の議案に対しても落札率の高さから反対しているので賛成できない。

財産の取得

(水槽付消防ポンプ自動車)
(高規格救急自動車)

反対 大武 真一 議員
改革栃木

入札の過程が不透明であり、競争性に欠けることから反対する。

一般会計歳入歳出決算

反対 白石 幹男 議員
無党派

合併時の、サービスは高い方に、負担は低い方に合わせるという約束が守られていないので反対する。

賛成 関口 孫一郎 議員
新生会

限られた財源で多様なニーズに応えるべく、努力をしていることから賛成する。

国民健康保険特別会計決算

反対 白石 幹男 議員
無党派

保険料を下げて市民負担の軽減を図る努力をすべき。

賛成 中島 克訓 議員
新生クラブ

収納率が0.6%向上しており、今後とも、健全運営の努力に期待をし、賛成する。

後期高齢者医療特別会計決算

反対 白石 幹男 議員
無党派

高齢者に、我慢と犠牲を強いる国の制度であり、存続を許すことはできない。

賛成 中島 克訓 議員
新生クラブ

保険料の収納対策、検診事業等適正に行われていることから賛成する。

介護保険特別会計決算(保険事業勘定)

反対 白石 幹男 議員
無党派

国の方針にとらわれず、市独自の減免制度をつくって保険料を軽減すべき。

工事委託契約の締結

(新庁舎1階整備業務)

反対 鮎田 榮一 議員
新誠会

設計書がない中で、契約を結ぶのは、法の精神を逸脱したやり方ではないか。

反対 白石 幹男 議員
無党派

開庁日にこだわらず、市民の意見を取り入れながら、再検討すべきである。

反対 内海 成和 議員
改革栃木

金額が適正かどうか判断する材料がないので契約を認めることはできない。

賛成 慶野 昭次 議員
新生会

工事業業者を一本化する本契約により安全管理が図れ確実な施工が実施できる。

新間への消費税軽減税率適用を求める請願

賛成 広瀬 義明 議員
大樹

市民負担を軽減し、文字文化の伝統を守るために、消費税軽減を適用すべき。

議案番号	議案											平成24年度各会計歳入歳出決算の認定											新用を求める請願	地方税財源の充実確保に関する意見書		
	94号	95号	96号	97号	98号	99号	100号	101号	104号	105号	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号	11号					
議員	工事請負契約の委託(栃木市役所新庁舎整備工事)(電気設備工事)	製造請負契約の締結(道路台帳作成業務委託)	ポンプ自動車	財産の取得(高規格救急自動車)	財産の処分(藤岡地域内土地)	訴えの提起	平成24年度水道事業会計剰余金の処分	の推薦	市庁舎1階整備業務)	工事委託契約の締結(新市庁舎)	和解及び損害賠償の額の決定	一般会計	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	(介護サービス事業助定)	介護保険特別会計(介護サービス事業助定)	下水道特別会計	農業集落排水特別会計	区画整理特別会計	JR大平下駅前土地	医療福祉モール特別会計	中根産業団地特別会計	水道事業会計	認定	認定	
採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	同意	可決	可決	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	不採択	採択	
針谷正夫(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
鮎田博(新誠会)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮎田榮一(新誠会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白石幹男(無会派)	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡辺照明(新誠会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岩義祐(無会派)	議長のため採決には加わらない																									
海老原恵子(大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松本喜一(大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増山敬之(大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須田安柝(新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
入野登志子(公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福富善明(大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広瀬義明(大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氏家晃(無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福田裕司(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阿久岩人(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大川秀子(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天谷浩明(改革栃木)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梅澤米満(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大島光男(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長若孝(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大武真一(改革栃木)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島克訓(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
関口孫一郎(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平池紘士(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉正弘(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大出三夫(曙光)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
萩原繁(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
慶野昭次(新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内海成和(改革栃木)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小堀良江(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大出孝幸(公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡賢治(大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永田武志(曙光)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

審議を行いました議案等の審議結果は以下のとおりです。

○…賛成 ●…反対

議案番号	79号	102号	103号	80号	81号	82号	83号	84号	85号	86号	87号	88号	89号	90号	91号	92号	93号	
	補正予算							税 例 の 一 部 改 正	改 都 市 計 画 税 例 の 一 部 改 正	税 外 入 金 に 係 る 督 促 手 続 料 及 び 延 滞 金 徴 収 に 関 する 条 例 の 一 部 改 正	税 外 入 金 に 係 る 督 促 手 続 料 及 び 延 滞 金 徴 収 に 関 する 条 例 の 一 部 改 正	高 齢 者 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 条 例 の 一 部 改 正	介 護 保 険 条 例 の 一 部 改 正	地 区 計 画 の 区 域 内 に お ける 建 築 物 の 制 限 に 関 する 条 例 の 一 部 改 正	字 の 区 域 の 変 更	工 事 請 負 契 約 の 締 結 (大 平 学 校 給 食 セ ン タ ー 新 築 建 築 工 事)	工 事 請 負 契 約 の 締 結 (大 平 学 校 給 食 セ ン タ ー 新 築 機 械 設 備 工 事)	工 事 請 負 契 約 の 変 更 (木 市 役 所 新 市 庁 舎 整 備 工 事 (建 築 工 事))
議 案	一 般 会 計 (第 3 号)	一 般 会 計 (第 4 号)	一 般 会 計 (第 5 号)	介 護 保 険 特 別 会 計 (保 険 業 務 勘 定 (第 1 号))	下 水 道 特 別 会 計 (第 1 号)	医 療 福 祉 モ ー ル 特 別 会 計 (第 1 号)	中 根 産 業 団 地 特 別 会 計 (第 1 号)											
議 員																		
採 決 結 果	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	可 決	
針谷正夫 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮎田博 (新誠会)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮎田榮一 (新誠会)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白石幹男 (無会派)	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
渡辺照明 (新誠会)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岩義祐 (無会派)	議長のため採決には加わらない																	
海老原恵子 (大樹)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松本喜一 (大樹)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増山敬之 (大樹)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須田安柝 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
入野登志子 (公明党議員会)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福富善明 (大樹)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広瀬義明 (大樹)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氏家晃 (無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福田裕司 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阿久岩人 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大川秀子 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天谷浩明 (改革栃木)	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
梅澤米満 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大島光男 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長若孝 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大武真一 (改革栃木)	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
中島克訓 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
関口孫一郎 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平池紘士 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉正弘 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大出三夫 (曙光)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
萩原繁 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
慶野昭次 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内海成和 (改革栃木)	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
小堀良江 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大出孝幸 (公明党議員会)	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡賢治 (大樹)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永田武志 (曙光)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会を傍聴してみませんか

現庁舎議場での最後の定例会です

12月定例会は、11月29日(金)開会予定です。

現議場での定例議会開催は、12月で最後です。議場に足を運んでみてはいかがでしょう。

詳しい日程については、議会運営委員会で決定したい、新聞折り込み等にてお知らせするほか、市議会のホームページにも掲載いたします。

詳細は議会事務局まで TEL 21-2253 FAX 25-2231

議会報告会を開催しました

平成25年10月22日から11月3日までに市内13か所で、議会報告会を開催し、数多くの市民の皆様と意見交換を行いました。

詳細については、次回の議会だよりでご報告いたします。



本会議の映像(録画)を配信しています

議会の本会議の様子を、インターネットで配信しています。

※映像の見方

- ①栃木市のホームページを開く。
- ②左側にある栃木市議会の文字をクリック(議会のページへ移ります。)
- ③インターネット議会中継の文字をクリック(議会放映のページへ移ります。)

定例会一般質問の生中継動画配信をしています

インターネット動画中継サービスのUSTREAM(ユーストリーム)を活用し、定例会一般質問の生中継動画配信をしています。

視聴方法につきましては、11月下旬頃にホームページ等でお知らせいたします。

議会の主なうごき

7月

- 3日 議会改革検討委員会
- 5日 議会運営委員研究会
- 12日 議員研究会
- 17日 議会広報紙発行特別委員会
- 18日 議会報告運営委員会
- 30日 政治倫理条例検討委員会
議会広報紙発行特別委員会

8月

- 2日 各会派代表者会議
- 6日～7日
民生常任委員会視察
(滋賀県米原市・兵庫県相生市)
産業教育常任委員会視察
(大阪府寝屋川市・兵庫県伊丹市)
建設常任委員会視察
(岐阜県恵那市・愛知県大府市)
- 19日 議員全員協議会
議員研究会
- 22日 議会運営委員会
- 28日 各会派代表者会議
- 29日 議会報告運営委員会
- 30日 本会議(初日)
議員全員協議会

9月

- 3日 本会議(一般質問)4人
議会運営委員会
- 4日 各会派代表者会議
本会議(一般質問)4人
議員研究会
- 5日 本会議(一般質問)4人
議会運営委員会
- 6日 本会議(一般質問)4人
- 8日 総務常任委員会(決算説明)
民生常任委員会(決算説明)
- 9日 産業教育常任委員会(決算説明)
建設常任委員会(決算説明)
- 12日 総務常任委員会
- 13日 民生常任委員会
- 17日 産業教育常任委員会
- 18日 建設常任委員会
- 20日 本会議
- 27日 各会派代表者会議
議会運営委員会
本会議(最終日)
議員全員協議会
議会広報紙発行特別委員会

広報紙発行特別委員会

「アレノ」「アラノ」「なんか変?」
そうなんです議会だより、少し変わりました。

先進地の視察等を経て、より読みやすく、わかりやすい議会だよりへと「改善」しました。

これからも一歩ずつ、進歩するよう「改善」を重ねてまいります。ご意見をお寄せください。

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 小堀良江 |
| 副委員長 | 福富善明 |
| 委員 | 針谷正夫 |
| | 鮎田博 |
| | 天谷浩明 |
| | 永田武志 |
| | 須田安紸 |
| | 大島光男 |